



千葉労働動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

95.8.1 No. 4233

「国鉄労働 破壊狙い『血の入換え』」

7・27 検修関係で配転

「配転で活性化」といふ理由は、全くの屁理論。

七月二十七日、千葉支社内の検修四職場において、13名の配転が行われた。支社は、この配転を「職場活性化」と称しているが、全くベテンである。配転の内容は、別表のとおりであるが、昨年の鉄産労3名の

配転(習志野電車区より幕張電車区)に続き、幕張電車区に鉄産労を集め、全国唯一の動労千葉・国労のみの職場、幕張電車区の勢力削ぎ落としを狙う、動労千葉・国労破壊の配転である。

全国唯一の動労千葉・国労のみの検修職場、幕張電車区の破壊

え」配転攻撃によって、今回、一名の動労千葉組合員の不当配転が強行された。

この間、幕張電車区では、分割・民営化を前後した国労・動労千葉破壊を基本的に粉砕して、

動労千葉は、直ちに不当配転に対する申し入れを行い、二六日、団交が開催された。

今日まで、JR総連・鉄産労のいない職場として存在してきた。動労千葉・国労のみの検修職場は、全国のどこのJR職場を見渡しても皆無である。

その中で、当局が今回の配転を「職場活性化」と称していることが全くベテンであることがより一層はつきりしたのである。

当局は、この現実に対し、昨年より鉄産労送り込みを行い、その代わりに動労千葉や国労組合員を支社や京葉電車区に配転し、脱退させるといふ攻撃に打って出たのである。

今回、動労千葉の組合員の不当配転をはじめ、一三名の配転が行われている。配転の根拠は何なのか。

何ら根拠のない「活性化」

当 今、これまで、検修職場は一つの職場に何年もあるということが多かった。マンネリなどデメリットの解消など職場の活性化を目的とした。

こうした不当な「血の入れ替

また、東葉臨海高速鉄道開通が予定され、京葉電車区に検修業務が委託される計画があり、VVVF車両が配置さ

れる予定だ。幕張電車区の技術を生かすためということも念頭においた。

組 VVVFの検修など理由にしているが、この時期に配転を行う緊急性など一つもないではないか。

また、木更津への配転は、八月一八日には木更津から強制配転された組合員の配属店舗が廃止される。廃止店舗配属者の配転先希望調査は、六月末で終わっている。その組合員の希望を支社も把握しているはずだ。あと半月も待てば、木更津に廃止店舗の組合員を帰せる。そうすれば、木更津への配転は、何の混乱もなく、納まるではないか。

当 今回の配転は、検修職場は、長期勤続の者が多い現状から

この間、動労千葉にかけられている勝浦運転区廃止をはじめ、当局は、虎視眈眈と動労千葉破壊攻撃を狙っている。われわれは、あらゆる組合破壊攻撃に対し、断固反撃しよう！不当配転を許さず闘おう！

マンネリを防ぐために行った。(と何回も繰り返す。)

廃止店舗配属者の希望調査については、現在整理している最中である。

組 今回の配転は、誰がどうみても幕張電車区への鉄産労の送り込みである。

「活性化」などと称しているが、動労千葉組合員には、意に反する配転を強制されて、活性化につながる訳などない。当 ……

▼検修職場の配転 (7月27日発令) ▼

- 幕張電車区へ4名 (鉄産労3、国労1)
 - ・習志野電車区より3名 (鉄産労2、国労1)
 - ・京葉電車区より1名 (鉄産労1)
- 京葉電車区へ6名 (国労5、JR総連1)
 - ・幕張電車区より3名 (国労3)
 - ・幕張電車区木更津支区より1名 (国労1)
 - ・京葉運輸区より2名 (国労1、JR総連1(※職士→職))
- 習志野電車区へ2名 (JR総連1、鉄産労1)
 - ・京葉電車区より2名 (JR総連1、鉄産労1)
- 幕張電車区木更津支区へ1名 (動労千葉1)
 - ・幕張電車区より1名 (動労千葉1)